

令和5年2月20日開催

総務常任委員会資料【所管事務調査】

上越市第3次財政計画の策定について

上越市第3次財政計画の策定について 1

上越市第3次財政計画 別冊

所 管 委 員 会	総務常任委員会
提 出 課	財政課

上越市第3次財政計画の策定について

1 策定目的

第7次総合計画に掲げる将来都市像「暮らしやすく、希望あふれるまち 上越」の実現に向け、計画的な財政運営により財政の健全性を保ちつつ、持続可能な行財政運営の基盤を確立することを旨とし、今後8年間における収支計画を策定するもの

2 計画期間等

- (1) 計画期間 令和5年度から令和12年度まで（8年間）
- (2) 対象会計 一般会計

3 策定目標

第7次行政改革推進計画の基本方針の一つである「健全財政の維持」に向け、同計画で位置付ける「歳入の確保」と「歳出の適正化」の取組を着実に実施するとともに、財源不足額が生じた際には財政調整基金を活用しつつ、各年度の収支の均衡を図る。

4 収支状況等

- (1) 収支不足額 (単位：億円)

令和5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度
▲13.0	▲15.7	▲7.7	▲13.7	▲6.5	▲14.8	▲15.1	▲15.8

- (2) 財政調整基金年度末残高（※） (単位：億円)

令和5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度
72.0	63.8	63.5	57.3	58.3	50.9	43.3	35.0

※ 収支不足額を繰入し、決算剰余金の1/2を積立（令和6年度以降、毎年7.5億円）した後の残高

- (3) 市債残高 (単位：億円)

令和5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度
1,072.1	1,042.5	999.5	955.3	909.4	865.9	816.3	769.6

市債残高から元金償還への普通交付税措置見込額を控除した実質的な負担額 (単位：億円)

令和5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度
276.6	267.9	256.1	243.6	230.1	216.4	204.1	195.4

- (4) 実質公債費比率 (単位：%)

令和5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度
10.8	10.5	8.6	8.3	8.4	8.8	8.9	8.6

- (5) 将来負担比率 (単位：%)

令和5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度
60.5	61.0	59.6	60.1	58.9	58.7	59.2	60.6

- ・ 計画期間の各年度で財源不足額が生じ、これを財政調整基金からの繰入で補う見通しとなったが、計画最終年度の令和12年度末で35.0億円を確保する見込み。
- ・ 市債残高については、上越斎場整備事業や病院改築事業等の普通建設事業を予定するが、市債の新規発行額が元金償還額を下回ることから、逡減する。
- ・ 実質公債費比率は、将来負担軽減のため令和4年度に第三セクター等改革推進債の一部を借換えず完済したものが、繰上償還とはならず定時償還として扱う影響から比率が上昇し、令和6年度まで10%台で推移。この影響が正常化する令和7年度以降、病院改築事業の影響で一時的に上昇するが8%台で推移。
- ・ 将来負担比率は、市債残高における実質負担額が逡減する一方、退職手当引当金相当額が年々増加するため、令和10年度以降上昇に転じる。